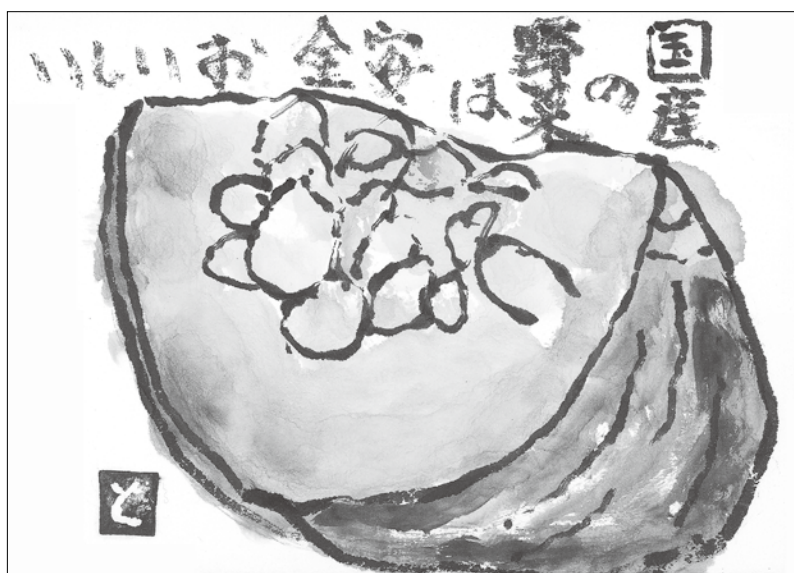


組合員の作品



絵手紙 柿
たんぼぼ支部 矢野 敬子



絵手紙 かぼちゃ
成田支部 豊田 純子

短歌

山深き丹後の星の空せまし酒を酌みつつ十六夜を見る

みい支部 稲原 一枝

虫の音を聞けば秋来るこころしてペダルも軽く夜道を帰る

みい西支部 堀 正子

うつつつと心開かぬ一日に煮干しの頭と腸をとる

みい支部 團 満理子

炎天下国防婦人整列し竹槍訓練の中に母おり

門真中央支部 兵頭 克己

※皆様の投稿をお待ちしています。(写真・短歌・絵手紙・川柳など)
編集委員会 ☎072-882-5025 (組織部まで)



盆栽 (ペーパークラフト)
さつき支部 山田 幸子

戦後70年を迎えて

はじめて息子と一緒に

私が終戦を迎えたのは12歳の時。毎夜の空襲警報のサイレンにおびえる生活から、戦後の解放感と、食べるものは少なかったが平和になったという思いだった。しかし、18歳の時、朝鮮戦争を境に、太平洋戦争当時に防空壕で焼け死んだ親子の事を思い出し、2度と戦争したらアカンとの思いを強くした。

被ばく70年の今年、初めて息子が、一緒に集会とデモ行進に参加した5月10日は、30何回目かの誕生日だった。

暑い日が続いた今年の夏ほど特別番組を見たことはなかった。安倍政権は国民・若者を戦争にかりたてようとしている。言葉では「積極的平和主義」、をうたっているが、私たちは「戦争法案」の危険な内容を理解した上で、反対の声を上げている。

直接戦争にはいかなかった私だが、戦争の悲惨さは経験している。私たちが、いま声を上げなければ、70年前の悲惨な状況が待ち受けている。そんな想いでこれからも、戦争反対、憲法改悪反対の声を上げ続けていく。なによりも、未来ある若者のために！

守口東支部 鈴木 龍雄